

近畿都市学会報

第172号

2010年8月10日

近畿都市学会

近畿都市学会・連絡先

近畿都市学会事務局

〒631-8502

奈良市山陵町1500

奈良大学文学部地理学教室内

近畿都市学会 事務局

事務局長：酒井高正

> 電話 & ファックス：0742-41-9539

> Eメール：info@kintoshi.org

(ご連絡は、なるべくEメールでお願いします。)

> ホームページ：<http://www.kintoshi.org/>

> 会費納入先：ゆうちょ銀行 振替口座

00990-7-86235 近畿都市学会

他の金融機関からは ゆうちょ銀行 ○九九店 (ゼロキウキウ店) 当座 0086235 キンキトシカ ツカイ

近畿都市学会編集委員会 宛先

(原稿等はすべてこちらにお願いします)

〒530-0001

大阪市北区梅田1-2-2-600

大阪駅前第2ビル6階

大阪市立大学大学院 創造都市研究科内

近畿都市学会 編集委員会

(担当) 副編集長：小長谷一之

> 電話：090-4649-2590

> ファックス：072-721-0064

> eメール：

konagaya@zc4.so-net.ne.jp

2010(平成22)年度秋季大会のお知らせ(予定)

2010年度秋季大会は、京都市を予定しております。

(詳細につきましては、次号(第173号)にてお知らせします)

【日時】2010年11月13日(土) 10:00~20:00(懇親会含む)(予定)

【会場】会場 京都市立京都堀川音楽高等学校

〒604-0052 京都市中京区油小路通御池押油小路238番地の1

(地下鉄東西線「二条城前」駅すぐ東、地図は次号)

【プログラム】(案)(時刻等は予定です。最終確定は次号173号をご覧ください)

10:00~12:00 エクスカーション(予定見学先：京都国際マンガミュージアム(龍池小学校跡)など)

12:00~13:00 昼食休憩

13:00~13:30 音楽演奏(奈良アコーディオン愛好会)

13:30~13:40 会長挨拶

13:40~14:20 京都市長特別講演

14:30~17:30 一般研究報告

18:00~20:00 懇親会

例年自治体開催である秋季大会は、京都市のご協力を得て、京都市中心部の市による整備拠点で実施することとなりました。教育文化都市である京都市は、学校の整備や廃校の利用などにおいても優れた事例があります。ふるってご参加下さい。

音楽高校での開催に伴い、奈良アコーディオン愛好会のご協力を得て、記念演奏を行うこととなりました。お楽しみいただければ幸いです。

研究報告を希望される方は次の申し込み手順にしたがって、期日までに手続きをお願いします。

【研究報告の募集】

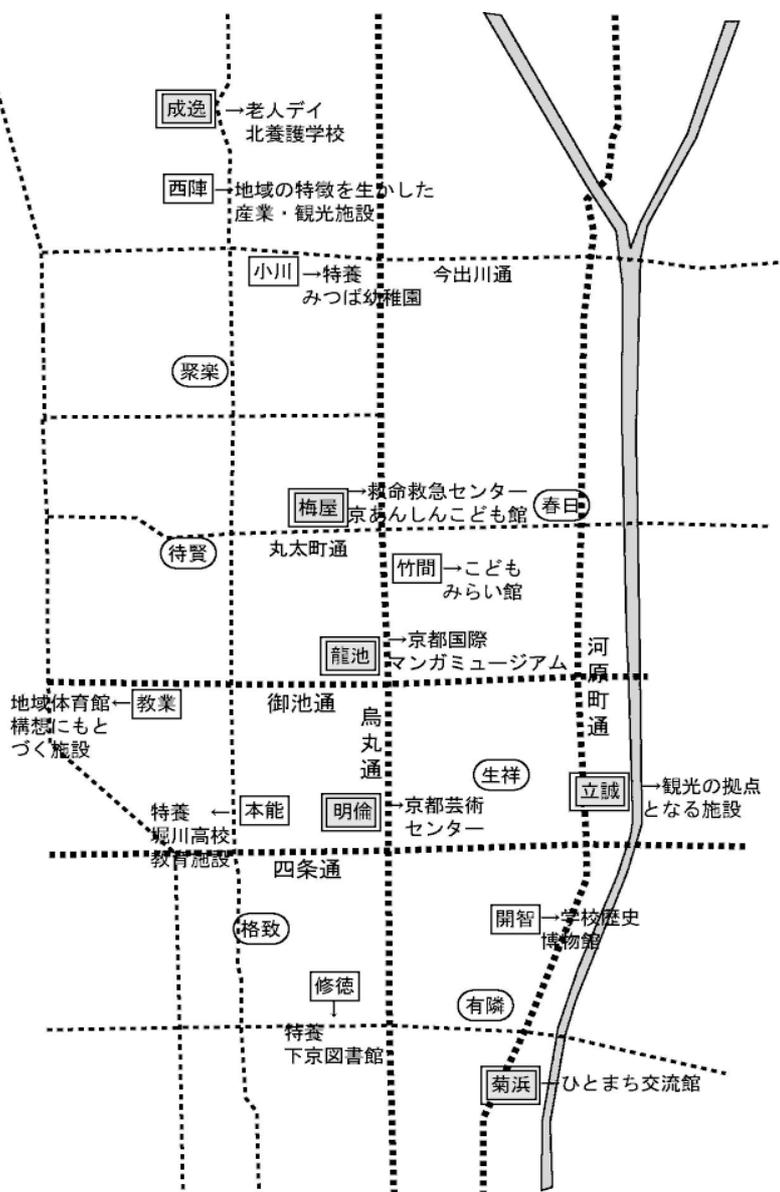
研究報告の申し込み

報告題目、報告者氏名（所属と連絡先を必ず明記して下さい）および報告する際の使用希望機器（原則としてPC用プロジェクターに限る）を明記したものを、9月20日（月）必着で近畿都市学会事務局まで、メール・ファックス・郵送のいずれかの方法でお送り下さい。

報告要旨の提出

報告要旨を作成し、9月27日（月）必着で上記の近畿都市学会編集委員会まで、基本的にメール（テキストファイルによるメールが望ましい）でお送り下さい。なお、フォーマットはヨコ40字・タテ38行、10.5ポイント、MS明朝（英数はcentury）とし、図表を含めて、1,200字以内とします。図表は、エクセルや画像の形式で、メールでお送りください。

【以下参考資料】



京都市都心部小学校跡地活用地図（『創造都市への戦略』による）

→ 広域用地
 → 身近用地
 → 将来用地

出所）京都市教育委員会資料をもとに小長谷ら作成（晃洋書房『創造都市への戦略』）



出所) 京都国際マンガミュージアムホームページより (『創造都市への戦略』)

・ 近畿都市学会 2010 年度春季大会のご報告

近畿都市学会 2010 年度春季大会は、2010 年 7 月 3 日(土)に奈良県立大学 4 号館で開催され、奈良県立大学学長、近畿都市学会新会長による挨拶の後、奈良県立大学教授小松原尚氏による特別講演「人的流動と都市」がおこなわれました。その後、以下の 7 つの一般発表研究報告、大会参加者約 60 名による活発な討論がおこなわれ、「dining bar 雷来」における懇親会(参加者 16 名)もふくめて、盛況のうちに終わりました。

- [1] 「軍港都市舞鶴の都市形成」上野裕(大阪経済法科大学)
- [2] 「商業・観光政策の変遷と中心市街地の観光マーケティング」中井郷之(豊中市役所政策企画部コミュニティ政策室)
- [3] 「都市型産業集積形成にかかる一考察 尼崎地域を中心として」梅村仁(尼崎市役所企画財政局都市政策課)
- [4] 「地方都市における都市型産業の創出プロセス 岐阜県大垣市を事例に - 」小畑和也(岐阜市役所)
- [5] 「タウンガイドを用いた地域イメージの可視化の試み - シブヤを事例として - 」鈴木健太(東京大学大学院 総合文化研究科 広域科学専攻 広域システム科学系 博士課程)
- [6] 「商業変動による地域イメージ変化と地価変動に関する考察」吉川浩(尾道大

学、イメージラボラトリー)

[7] 「駅前再開発ビルにおける繁栄三要件の選定とその妥当性 - 尼崎市の事例による検証 - 」 荒木徹 (クラ - ク国際専門学校講師)

・『都市研究』第10巻 ふるってご投稿ください!

【都市研究第10巻の査読論文の公募について】(編集長: 綿貫伸一郎)

第10巻の査読論文を募集いたします。締切りは(延長し)2010年9月30日とします。執筆要項は『都市研究』の各号に掲載しておりますので、会員のみなさまのご投稿をお待ちしております。なお、投稿は巻頭の編集委員会までお願いいたします。

・近畿都市学会理事会・評議員会等のご報告

近畿都市学会2010年度第3回理事会・評議員会は、2010年7月3日(土)に春季大会会場で開催され、2009年度決算・事業報告、2010年度予算・事業計画、2010年度役員などを検討し、承認しました。

・日本都市学会第57回大会(関東が担当、高崎市で開催)

日本都市学会代58回大会(東北が担当)のお知らせ。

日本都市学会第57回大会(2010年度)は、関東都市学会が担当し、2010年10月22日(金)・23日(土)・24日(日)に、高崎市の高崎経済大学において、「横断国土軸と都市の再生」をテーマに開催する予定です。

日本都市学会第58回大会(2011年度)は、東北都市学会が担当する予定です。

詳細はホームページで追って連絡してまいります。学会員の皆様はスケジュールの調整をよろしくお願いいたします。くわしくは、日本都市学会ホームページ <http://www.toshigaku.org/> をご覧下さい。

・近畿都市学会/日本都市学会年報事務局(担当近畿)のホームページ・メールのアドレスが変更になっています(昨年より)

【近畿都市学会事務局連絡先】

【ホームページ】(「きんとし・どっと・おるぐ」とお覚えください)

<http://www.kintoshi.org/>

【近畿都市学会総合受付代表メールアドレス】

info@kintoshi.org (以前のアドレスでも届きます。)

(電話・住所等は変更ありません) 電話&ファックス: 0742 - 41 - 9539
〒631 - 8502 奈良市山陵町1500 奈良大学文学部地理学教室内
近畿都市学会 事務局 事務局長: 酒井高正

【日本都市学会年報事務局(担当近畿)連絡先】

【ホームページ】

<http://www.kintoshi.org/nenpo/>

【(1)原稿・編集等に関すること】 年報(編集)事務局(担当:小長谷一之)

nenpol@kintoshi.org

(連絡先) TEL 090 - 4649 - 2590、FAX 072 - 721 - 0064
〒530 - 0001 大阪市北区梅田1 - 2 - 2 - 600 大阪駅前第2ビル6F
大阪市立大学大学院創造都市研究科都市政策専攻 小長谷一之 宛

【(2) 発送・バックナンバー・支払に関すること】 年報(刊行)事務局(担当:山崎健)

nenpo2@kintoshi.org

(連絡先) TEL & FAX 078-803-7778

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲3-11

神戸大学大学院人間発達環境学研究科人間環境学専攻 山崎研究室 宛

・日本都市学会の事務局体制と4つの賞について

2010年度、事務局体制は以下のように変更となりました。本部事務局:近畿 関東、年報編集事務局:中部 近畿、論文審査事務局:東北 中四国、学会賞事務局:九州 東北。また、「学会活性化・若手奨励ワーキンググループ(戸所隆委員長)」の答申により、今年より 日本都市学会・奥井賞、日本都市学会・論文賞(日本都市学会および地域都市学会誌に掲載された、40才未満の若手対象)、日本都市学会特別賞(学術部門)、日本都市学会特別賞(まちづくり部門)の4つの賞が設定されています。くわしくは日本都市学会ホームページ <http://www.toshigaku.org/> をご覧下さい。

・事務局より(会員異動)

- <新入会> 徳丸義也(大阪市立大学大学院経済学研究科後期博士課程、専門分野:経済地理学・都市型産業集積)
佐藤正幸(専門分野:北陸繊維工業集積の再生について)
- <逝去> 三輪嘉男(2009年12月)
- <退会> 赤坂嘉宣

・2010年度総会報告

春季大会において、2010年度役員、2009年度決算、2010年度予算が以下の通りに承認されました。

【2010年度役員(原則としてアイウエオ順、任期2010年6月~2011年5月)】

(会長) 山田浩之

(理事) 編集: 綿貫伸一郎(委員長)、小長谷一之、佐々木雅幸

集会: 山崎健(委員長)、久隆浩

庶務: 酒井高正(事務局長)、碓井照子、實清隆

(評議員) 井出光、内田敬、香川貴志、加藤一誠、加藤恵正、金坂清則、佐藤彰男、関根秀和、醍醐昌英、高山正樹、淡野明彦、寺本光雄、徳岡一幸、長尾謙吉、中川万喜子、藤井正、前川知史、増田昇、三輪康一、文世一、安田孝、安田丑作、山田誠

(監査) 野口隆、山本剛郎

(幹事) 井垣貴子、井上馨、上田恵美子、後藤暁夫、佐野光彦、中井郷之、中西久雄、吉川浩

(事務局) 奈良大学文学部地理学教室(酒井高正研究室)

【参考:日本都市学会関係】

(日本都市学会理事) 高山正樹、久隆浩(以上支部選出理事)、山田浩之(支部会長理事)

(日本都市学会常任理事=年報事務局担当) 小長谷一之、山崎健

(日本都市学会論文賞審査委員) 實清隆、高山正樹

【参考：名誉会員】

名誉会員（日本都市学会在籍）小森星児、竹村保治、成田孝三、西川幸治、三輪雅久
 名誉会員（近畿のみ）天野光三、石原照敏、大久保昌一、岡本登太郎、片倉健雄、倉田
 和四生、小杉八朗、近藤公夫、田口芳明、鳴海邦碩、西田彦一、宮本憲一、安井
 司、吉井藤重郎

近畿都市学会 2009年（平成21年）度決算（2009年5月1日～2010年4月30日）

収入の部	予算額	決算額	備考
会費	¥1,200,000	¥1,086,000	
寄付・その他	¥200	¥18,778	銀行金利、懇親会剰余金、出版物売上
前年度繰越金	¥553,263	¥553,263	
計	¥1,753,463	¥1,658,041	
支出の部	予算額	決算額	備考
日本都市学会費	¥540,000	¥512,000	2009年度分128口(85%)
大会運営費	¥200,000	¥107,760	春季大会、秋季大会
会議費	¥10,000	¥0	
印刷費	¥430,000	¥447,300	「都市研究」8号、会報第166-169号
人件費	¥40,000	¥21,500	
通信費	¥100,000	¥81,875	ホームページ費用を含む
運搬交通費	¥100,000	¥30,000	日本都市学会理事会（東京）会長交通費
消耗品費	¥50,000	¥9,684	ホームページ作成ソフトを含む
雑費	¥10,000	¥2,205	
予備費	¥273,463	¥10,920	「21世紀の都市像」5冊買取
次年度繰越金	¥0	¥434,797	南都¥315,109、ゆうちょ¥104,000、現金¥15,688
計	¥1,753,463	¥1,658,041	

近畿都市学会 2010年（平成22年）度予算（2010年5月1日～2011年4月30日）

収入の部	予算額	前年度比	備考
会費	¥1,200,000	¥0	
寄付・その他	¥200	¥0	銀行金利
前年度繰越金	¥434,797	¥-118,466	
計	¥1,634,997	¥-118,466	
支出の部	予算額	前年度比	備考
日本都市学会費	¥540,000	¥0	年報44号（2010年度）
大会運営費	¥200,000	¥0	
会議費	¥10,000	¥0	理事会など
印刷費	¥430,000	¥0	『都市研究』第9号、会報各号
人件費	¥40,000	¥0	
通信費	¥110,000	¥10,000	ホームページ費用を含む
運搬交通費	¥90,000	¥-10,000	日本都市学会理事会（東京）会長交通費
消耗品費	¥50,000	¥0	
雑費	¥10,000	¥0	
予備費	¥154,997	¥-118,466	記念誌印刷代を含む
計	¥1,634,997	¥-118,466	

=====
会員募集について 近畿都市学会は、学際的・実践的な都市研究の推進、多分野の研究者相互や研究者と自治体の連携の強化、それらを踏まえた都市学の確立を目的に活動していますが、より活発な学会活動のために新入会員を随時、募集しております。みなさまのお知り合いの方で、本学会の目的および事業にご賛同頂ける方がおられましたら、是非、本学会へのご入会をおすすめ下さいますようお願いいたします。なお、本号の裏表紙にある「近畿都市学会入会のおすすめ」を必要に応じてコピーして頂き、お使い下さい。

=====
近畿都市学会入会（日本都市学会同時入会）のおすすめ

21世紀は人類の大半が都市民となる空前の「都市の世紀」を迎えました。しかし、この急速な都市化の前には、環境、開発・保存、防災、人口、交通、福祉等の深刻な課題が逼迫しています。これらの課題の調査研究は、従来は土木・建築、地理、経済、社会、政治・法等の諸学会の研究課題として取り組まれてきましたが、それらの総合的研究は、未だ十分な状態にあるとはいえません。都市に関する理論や諸問題を研究し、健全な方向に都市の発展を導くような総合的・学際的「都市研究」が、各方面から要請されています。こうした要望にこたえ、第二次大戦後、日本都市学会が復活し、1957（昭和32）年にはその支部として近畿都市学会が設立されました。この間、学会では大学その他の研究者と市政担当者との緊密な協力のもとに、都市に関する総合的な調査研究の実をあげてきました。さまざまな都市問題の解決、都市政策の提言・実践が緊急に迫られている今日、更に多くの研究者、公共団体、NPO・NGO等の市民団体の皆様に御入会をいただき、実り豊かな都市研究を押し進めたいと考えています。この主旨に御賛同のうえ、近畿都市学会に御入会下さいますよう切に希望する次第です。

1．代表的な年間活動

- (1) 学術雑誌『都市研究』を年1回発行。
- (2) 『近畿都市学会報』を年4回発行。
- (3) 学術雑誌『日本都市学会年報』を年1回発行。[日本都市学会事業]
- (4) 『日本都市学会ニュース』を年2回発行。[日本都市学会事業]
- (5) 近畿都市学会大会を年2回開催（春季大会は大学・学術研究機関等、秋季大会は地方自治体）。
- (6) 他に日本都市学会大会を年1回開催。[日本都市学会事業]
- (7) 日本都市学会賞（奥井賞、論文賞、まちづくり賞、共同賞）の授与。[日本都市学会事業]

2．普通会员の特典

- (1) 上記、雑誌『都市研究』（年1巻）の購読、投稿（査読論文部門）の機会。
- (2) 上記、『近畿都市学会会報』（年4号）の購読の機会。
- (3) 上記、雑誌『日本都市学会年報』（年1巻）の購読、投稿の機会。
- (4) 上記、『日本都市学会ニュース』（年2号）の購読の機会。
- (5) 上記、近畿都市学会大会（年2回）への参加、発表の機会。
- (6) 上記、日本都市学会大会（年1回）への参加、発表の機会。
- (7) 上記、日本都市学会賞の授与対象となる機会。

日本都市学会は地方学会（近畿都市学会他）から同時入会となります。普通会员は、年

会費 8,000 円（日本都市学会会費 4,000 円 + 近畿都市学会会費 4,000 円）です。自治体・法人・企業等は、特別会員（年会費 10,000 円）となります。

3. 学生会員の特典（学生は普通会员のほか学生会員を選択することもできます）

- （1）上記、雑誌『都市研究』（年 1 巻）の購読、投稿（査読論文部門）の機会。
 - （2）上記、『近畿都市学会会報』（年 4 号）の購読の機会。
 - （3）上記、近畿都市学会大会（年 2 回）への参加、発表の機会。
- 学生会員は、年会費 4,000 円（近畿都市学会会費のみ）です。

4. 申込連絡先

〒631-8502 奈良市山陵町1500 奈良大学文学部地理学教室（酒井研究室）内
近畿都市学会事務局長 酒井高正

ホームページ：<http://www.kintoshi.org>

Eメール：info@kintoshi.org

電話・FAX：0742-41-9539

<2010 年度会費納入のお願い>

下記の口座に 2010 年度分会費を納入いただきたくお願いいたします。

郵便局・ゆうちょ銀行からは... ゆうちょ銀行 振替口座 00990-7-86235 近畿都市学会
(他の金融機関からは... ゆうちょ銀行 ○九九(ゼロキユウキユウ)店 当座 0086235 キンキトシカ'ツカイ)

- ・ゆうちょ銀行総合口座をお持ちの方は、ゆうちょ ATM から口座間送金（電信振替）でお送りいただくと手数料が無料になります。
- ・大会に参加される方は会場にてお支払いいただくこともできます。
- ・会費年額は、普通会员 8,000 円、学生会員等（近畿都市学会のみ）4,000 円、名誉会員（日本都市学会にも在籍）4,000 円、名誉会員（近畿都市学会のみ）無料、特別会員（団体）10,000 円です。
- ・払込用紙、請求書、領収証などの必要な方、納入状況の確認をされたい方は、事務局（酒井）までご連絡ください。